

(財)三重県交通安全協会

# 交通安全みえ

2010 / 早春号 No.166

発行所  
 (財)三重県交通安全協会  
 三重県交通安全活動推進センター  
 (三重県公安委員会指定)  
 〒514-0004  
 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F  
 TEL 059-228-9636  
 URL <http://www.mie-ankyo.com>

## 北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は**交通事故をなくす**ための幅広い活動を行っております。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 新入園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

四日市西地区交通安全協会と  
 伊賀地区交通安全協会の  
 効果的活動はP2に  
 ズームアップ!



わたしはシンボルマスコット「ストッピー」です。

1月下旬から2月にかけて交通死亡事故が多発したため、再発防止を訴える緊急活動が多く展開されました。



## 春の全国交通安全運動 平成22年4月6日(火)～4月15日(木)

### ●運動の基本

#### 子どもと高齢者の交通事故防止

入学シーズンとなり子ども達の動きも活発になります。また、高齢者の事故も依然として多発しています。子どもと高齢者の交通安全意識を高めるとともに、周りの方も保護意識を持ち、交通事故を防止しましょう。

### ●運動の重点

#### ①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

車両に乗る全ての人がシートベルトを正しく着用し、車外放出などから自分の命を守りましょう。

#### ②自転車の安全利用の推進

平成20年6月の改正道路交通法で自転車の通行等に関するルールが変更されました。自転車は車両であることを認識し、交通ルールを遵守しましょう。

#### ③飲酒運転の根絶

飲酒運転は犯罪です。平成21年6月より行政処分も強化されました。ハンドルキーパー運動の推進を図り、飲酒運転を根絶しましょう。

4月10日(土)は  
 交通事故死ゼロを  
 目指す日です。

## 第38回 二輪車安全運転三重県大会 参加者募集のお知らせ!

参加費  
 無料!

～自分の運転技術を試してみませんか?～

二輪車の安全技術とマナーの向上を図り、交通事故防止のため、毎年開催しております。昨年はベテランから初参戦まで総勢51名の選手が参加し、法規・技能走行で腕を競い合いました。しかし、年々参加者が減っているため、皆さんの声かけなど御協力をお願い致します。

- 主催：(財)三重県交通安全協会 三重県二輪車安全運転推進委員会
- 後援：三重県警察本部 三重県二輪車安全普及協会
- 協力：三重県軽自動車協会 (社)自販連 三重県支部

- 開催日時：平成22年6月6日(日)
- 開催場所：三重中央自動車学校  
 (所在地) 津市高茶屋4丁目48番8号  
 (TEL) 059-234-2175
- 参加クラス：①若年者クラス(20歳未満・50cc以下)  
 ②女性クラス(50cc以下)  
 ③一般Aクラス(126ccから400cc以下)  
 ④一般Bクラス(400ccを超えるもの)
- 競技内容：法規走行(交差点の通行・合図・安全確認等)  
 技能走行(スラローム・ちどり走行・一本橋走行等)



▲昨年の全国大会：三重県第29位

各クラス上位者から、7月31日(土)・8月1日(日)の両日鈴鹿サーキットで開催される全国大会への三重県代表選手を選考します。サーキットを目指してみませんか? たくさんのご参加お待ちしております!

詳しくは、(財)三重県交通安全協会  
**TEL 059-228-9636** へお問い合わせ下さい。



# 平成21年度 交通安全協会女性部研修会



三重県警察本部 交通企画課 野浪調査官

平成22年1月14日(木)、三重県総合文化センター内・生涯学習センター4階大研修室において、「平成21年度交通安全協会女性部研修会」を開催しました。本研修会は、平素、地域の特性に応じた交通安全活動を展開されている女性部の皆さんの資質向上を図るために開催し、当日は心配されましたが、各地区から女性部代表者54名の方にご参加いただきました。

午前中は、外部講師を招き、知識向上を図りました。三重県警察本部交通部交通企画課の野浪調査官より「最近の交通情勢と交通に関する諸問題」と題し、県内の事故の特徴や今後の重点などについて説明を受けました。

次いで、鈴鹿モビリティ研究会の相浦和則氏より「交通安全のツボ」と題し、効果的な話術や相手を飽きさせない

午後からは、いなべ・亀山・紀宝の三地区による活動発表を行いました。

いなべ地区の「手作り資器材による交通安全教室」は、落下する棒を掴む反射神経テストや反射材の効果を実験できるブラックボックスなど、参加者と共に楽しめる工夫がされていました。

亀山地区の「交通安全コンサート」は、高齢者を対象にした内容で、日頃の喋り口調で、反射材の活用や斜め横断など高齢者の特性を捉えた話題を織り込み、会場には笑い声が絶えない状況でした。

紀宝地区の「笑点」はその演目通り、テレビ番組と同じ



鈴鹿モビリティ研究会 相浦和則氏

コツについて伺った後、それらを踏まえた交通安全教室の実演をされました。専門家の意見を聞くことにより、改めて気付かされる点も多く、貴重な講話を頂きました。



紀宝地区



亀山地区



いなべ地区

イントロで登場し、講習準備検査や飲酒運転・高齢者の事故防止をお題として取り上げ、聞き手が分かりやすく楽しめるやりとりでした。

他地区の皆さんからは、自分たちの地区でぜひ真似をして取り入れたいという声が多く聞かれました。



ディスカッション風景

その後、女性部活動の現状と問題点、地域との関わり及び効果的な交通安全教育手法をテーマにディスカッションを行いました。

各地区でどのようなことに重点を置いているか、また対象者への配慮点などに関して意見を出し合い、講師の方からも、更に交通安全教室を充実させるポイントについてアドバイスをいただきました。

また、現状の問題点として、若い母親層など交通事故について知ってもらいたい年齢層の女性部員が少ないとの声が多く聞かれました。

最後に、前田専務理事より、交通事故を減らすためには、息の長い交通安全教育が大切であり、本研修会の成果を「明日からではなく今日から」各地区で活かしてもらいたいと締めくくられました。

今後の女性部の更なる活躍を期待しています。

## 各地区職場から

四日市北地区交通安全協会職員の方



局長以下4名で頑張っています！どうぞよろしくお願ひします。

四日市南地区交通安全協会職員の方



職員年齢層10代~60代、パワー全開で頑張ります！

四日市西地区交通安全協会職員の方



私たちは、明るく楽しい職場を目指しています！

亀山地区交通安全協会職員の方



女性部に負けてはられません。交通安全コントも出来る職員です！

## 伊賀地区交通安全協会

### 女性部会手作りオリジナルかるたで交通安全子どもかるた大会開催



女性部会による「交通安全子どもかるた大会」が開催され、伊賀市の幼児・小学生ら48人が参加し、交通安全標語が書かれたオリジナルかるたを使って、楽しみながら交通ルールを学びました。判定には「横断中」と書かれた黄色い旗を使用し、札が読み上げられると元気よくかるたに手を伸ばしていました。また、標語を正しく覚えられか記憶力ゲームも行い、有意義で楽しい大会となりました。



## 四日市西地区交通安全協会

### 中国人就労研修生15名に交通安全指導実施



菟野町内等で自動車部品製造会社に就労し、約3年間日本に滞在する20~25歳の中国人就労研修生に対して、交通安全指導を実施しました。特に中国とは異なる歩行や自転車のルールについて指導し、中国語のビデオ上映や通訳を介して信号機や交通標識の説明、また、夜間・薄暮時の事故防止のため反射材も配布し、滞在中の交通事故防止を訴えました。

## 第50回交通安全国民運動中央大会

平成22年1月18日・19日の両日、第50回交通安全国民運動中央大会が開催されました。

第1日目は、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、約470人が参加し、「地域・家庭部会」「交通安全教育部会」「企業部会」の三部会に分かれ、交通安全対策について各部会代表者7名が意見発表し、討議をする分科集会が開かれました。

主として幼児・小学生・中学生・高校生・高齢者に対する交通安全教育の在り方及び効果的な実施方法をテーマとする「交通安全教育部会」において、現在も三重県公安委員会が実施する原付講習で実技指導員をされている増木尚武様の発表がありました。

『原付の交通事故防止について』と題した発表の中で、原付免許取得時の学科教養の法制化の必要性や高校生の「三無い運動」解除の検討、技能講習での成績評価制度の導入など、法規の理解を深め、実践面の充実を図ることが重要であり、それと同時に、しっかりとした指導教養が出来る指導員育成も課題であると訴えました。

また、二輪車販売店も商品が売れば良いという考えではなく、メーカーと一体となって「安全も売る」姿勢が求められ、それが安全教育に繋がると述べられました。



第2日目は、日比谷公会堂において本会議が開催されました。今回は天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国から約二千人が参加する中、天皇陛下より「交通事故による死者は毎年減少し続けていますが、それでもなお5千人近くの命が失われていることは誠に痛ましいことです。今後も交通安全活動に尽力されている皆さんの活動が、ますます大きな成果を収めることを願っています。」という趣旨のお言葉を寄せられ、まさに50回目という節目を迎えた記念すべき大会となりました。

その後、来賓の方々からご挨拶をいただき、交通安全賞章など各種の表彰が執り行われました。

### 交通安全優良団体等

- ◆緑十字金賞
  - 交通安全功労者
    - 奥田 寛一 様 (津南)
    - 辻 昇 様 (亀山)
  - 交通安全功労者
    - 上村 正道 様 (鳥羽)
    - 前川 満 様 (津南)
    - 赤塚ひさ子 様 (津)
    - 竹林 武一 様 (津)
    - 尾崎 正幸 様 (亀山)
    - 千原 勇 様 (松阪)
    - 中嶋 敦子 様 (四北)
    - 松崎 宗代 様 (名張)
    - 中島 二郎 様 (安管)
  - 緑十字銀章
    - 優良運動者
      - 稲森 昭男 様 (伊賀)
- ◆交通安全優良団体
  - 株式会社イシザキ (いなべ)
  - 交通安全優良事業所
    - 株式会社戸田家 (安管)
    - トヨタカローラ三重株式会社 (安管)
  - 交通安全優良学校
    - 四日市市立河原田小学校 (四南)
  - 優良交通安全協会
    - 四日市南地区交通安全協会
    - いなべ地区安全運転管理協議会

本大会における三重県の受賞者及び団体は次の通りです。本年のご努力とご功績に敬意を表し、心からお祝ひ申し上げます。